

株式会社インテリム・QPS ホールディングス LLC 共催

第1回 アジアンスタディセミナー =これからのアジアンスタディ=

日時：2012年11月21日(水) 14:00~19:30

場所：京王プラザホテル新宿 4階 花

開会挨拶

14:00-14:10

株式会社インテリム 代表取締役 浮田 哲州

1. グローバル・アジアンスタディに重点を置いた新薬開発に対する台湾の戦略

14:10-14:50

Center for Drug Evaluation, Chinese Taipei 前執行長
国立台湾大学 Heng-Der Chern 先生

2. アジア地域での国際共同治験実施の重要性

14:50-15:30

=なぜ日本の製薬会社はアジアで治験をすべきなのか？=

日本臨床腫瘍学会 事務局特別顧問/株式会社インテリム 特別顧問 西條 長宏 先生

3. 韓国からみたアジア地域での共同開発

15:30-16:10

=アジアンスタディの必要性和障壁=

ソウル国立大学 Yung-Jue Bang 先生

(休憩; 16:10-16:25)

4. 治験責任医師、製薬会社、CRO、それぞれの立場から考えるこれからの医薬品開発(ディスカッション) =アジアンスタディを成功させるには何が必要か？= 16:25-17:10

ファイザー株式会社 クリニカル・リサーチ統括部 オンコロジー疾患領域部 クリニカルリーダー 廣橋 朋子 様

QPS-Qualitix 社 臨床開発部 部長 David Hsu

座長 株式会社インテリム 臨床開発本部 オンコロジー開発部長 古川 博士

5. 質疑応答 30分程度(17:10-17:40)

閉会挨拶/iQ ファーマサービス株式会社の目指すアジアンスタディ 17:40-18:00

QPS ホールディングス LLC 会長 Benjamin M. Chien

iQ ファーマサービス株式会社 代表取締役

株式会社インテリム 取締役 臨床開発本部長 岩崎 政司

懇親会 1時間30分(18:00-19:30)